

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 新 「新・岐阜の宝もの」ブラッシュアップ補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 観光資源係 電話番号：058-272-1111 (内 3058)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 20,000 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	20,000	0	0	0	0	0	0	0	20,000
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

全国に通用する観光資源になるものとして、県が認定する「岐阜の宝もの」等について、「withコロナ」社会の観光のあり方として注目されている「持続可能な観光 (サステイナブル・ツーリズム)」に向けたブラッシュアップを行い、観光資源としての魅力を増大させることで誘客を促進する。

(2) 事業内容

■ 「岐阜の宝もの」ブラッシュアップ支援事業 (10,000)

「岐阜の宝もの」「明日の宝もの」について、サステイナブル・ツーリズムの観点で磨き上げを行う取組への助成

■ 木曽川流域観光資源魅力向上推進事業 (10,000)

木曽川流域の「新たな観光資源 (隠れた魅力)」の発掘、ブラッシュアップを行い、流域市町、観光協会等の連携により、将来的に流域の周遊性、滞在時間、宿泊期間及び消費額を増加させる取組への助成

【補助対象者】

- ① 市町村
- ② 観光協会等 (観光協会、観光振興に取り組んでいる団体)
- ③ 日本版DMO等

※観光庁の「日本版DMO」に登録された法人、「日本版DMO候補法人」に登録された法人、「日本版DMO候補法人」登録申請予定の法人。

- ④次に掲げる者のいずれかで構成する観光関係協議会等
- (1) 複数の市町村
 - (2) 市町村及び観光関係事業者
 - (3) 複数の観光関係事業者
(ただし、市町村から助成又はそれと同等の支援を受けていること。)
 - (4) その他知事が補助事業者として特に認める者

(3) 県負担・補助率の考え方

■「岐阜の宝もの」ブラッシュアップ支援事業【新設】

県が認定する「岐阜の宝もの」等について、サステイナブル・ツーリズムの観点でブラッシュアップを行うことで、県の観光の魅力を高めるものであり、県補助率2/3、上限1千万円とする。

■木曽川流域観光資源魅力向上推進事業【上限額引き上げ】

木曽川流域の「新たな観光資源（隠れた魅力）」の発掘、ブラッシュアップを行うための取組みであり、県補助率2/3、上限1千万円とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	20,000	<ul style="list-style-type: none"> ・「岐阜の宝もの」ブラッシュアップ支援事業 ・木曽川流域観光資源魅力向上推進事業
合計	20,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす
(地域の魅力を高めるために)

(2) 国・他県の状況

岐阜県独自の事業である。

(3) 後年度の財政負担

新型コロナウイルスの影響による緊急支援事業のため、単年度事業である。

(4) 事業主体及びその妥当性

「岐阜の宝もの」等を活用した観光事業の実施者、木曽川中流域の観光資源を整備・活用する者に対して補助するものである。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	「新・岐阜の宝もの」ブラッシュアップ補助金
補助事業者（団体）	市町村、観光協会、観光関係協議会、観光事業者 （理由）「岐阜の宝もの」を管理・活用する者又は木曽川流域の観光関係者によるブラッシュアップを支援
補助事業の概要	（目的）「岐阜の宝もの」及び木曽川流域の観光資源のブラッシュアップを支援 （内容）
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）補助率 2/3、上限 10,000 千円 （理由）「清流の国ぎふ」観光回廊づくり推進事業費補助金の「観光資源魅力向上推進事業」と同等の上限額を設定。「持続可能な観光」に向けた取り組み及び木曽川流域の観光資源のブラッシュアップを重点的に促進するため補助率は 2/3 を設定。
補助効果	「岐阜の宝もの」及び木曽川流域への観光入込客数の増加
終期の設定	終期 令和 5 年度 （理由）事業開始から 3 年

（事業目標）

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

「岐阜の宝もの」をはじめとする県内各地域にある地域資源を他の地域資源や観光資源と連携させ、観光資源化に向けた取組を推進させることにより、本県における周遊滞在型観光の振興を図るとともに、滞在時間・宿泊日数の拡大、観光消費額の増大を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30 年度末)	目標 (R3 年度末)	目標 (終期)
① 観光消費の経済波及効果	4,172 億円	5,000 億円	5,000 億円
③ 観光入込客数（実数）	4,603 万人	4,600 万人	4,600 万人

	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度 (要求)
補助金交付実績	千円	千円	千円	(予算額) 千円	(要求額) 20,000 千円
指標①目標	5,000 億円	5,000 億円	5,000 億円	5,000 億円	5,000 億円

指標①実績	4,175 億円	4,172 億円		(推計値)	(推計値)
指標①達成率	83.5%	83.4%	%	(推計値) %	(推計値) %
指標②目標	4,600 万人	4,600 万人	4,600 万人	4,600 万人	4,600 万人
指標②実績	4,556 万人	4,603 万人		(推計値)	(推計値)
指標②達成率	99.0%	100.1%	%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 「with コロナ」社会の新たな観光の形としてサステイナブル・ツーリズムが求められている。
--

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い
<p>(評価) ○</p> <p>新たな観光の形としてサステイナブル・ツーリズムが求められている。木曾川流域の観光地のブランド化は県として推し進めるものである。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない
<p>(評価)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある
<p>(評価) ○</p> <p>「岐阜の宝もの」等を活用した観光事業の実施者、木曾川中流域の観光資源を整備・活用する者に対して補助するものである。</p>

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

<p>継続・削減・統合・廃止 (理由)</p>
